

福井工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	経済学	
科目基礎情報							
科目番号	0057			科目区分	一般 / 選択		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	機械工学科			対象学年	5		
開設期	後期			週時間数	2		
教科書/教材							
担当教員	手嶋 泰伸						
到達目標							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	予習をもとにして授業中に発言することができる			適切に予習を行なうことできる		予習を行っていない	
評価項目2	授業の内容を優れてまとめることができる			授業の内容を適切にまとめることができる		授業の内容をまとめることができない	
評価項目3							
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	現代経済の特徴と問題点を歴史的かつ理論的に理解するための基礎的な視座を獲得するとともに、考察力を養う。						
授業の進め方・方法	「人と社会をよりよく知るための経済学」をテーマとして、今年度は「貨幣」、「資本主義」、「経済心理」、「時事問題」を扱う。 教員が授業終了時に出す課題に基づき、受講者は予習レポートを作成する。教員は各受講者が作成・報告するレポートの内容をもとに、現代経済の歴史的・理論的な説明を行う。その説明をもとに、受講者は復習レポートを作成する。						
注意点	定期試験は行なわず、課題で評価をする。全ての課題を提出しなければ合格とはならない。						
授業計画							
後期		週	授業内容		週ごとの到達目標		
	3rdQ	1週	ガイダンス				
		2週	貨幣について① 貨幣の本質と効果		貨幣の本質と効果について説明できる		
		3週	貨幣について② 貨幣価値の安定と中央銀行		中央銀行の役割について説明できる		
		4週	貨幣について③ 貨幣の現在とこれから		仮想通貨や電子マネーについて説明できる		
		5週	資本主義について① 資本主義の発達と発見		資本主義の発達過程について説明できる		
		6週	資本主義について② 豊かさの尺度-生産・消費・幸福感		豊かさの各種指標について説明できる		
		7週	資本主義について③ 資本主義の現在とこれから		金融資本主義について説明できる		
		8週	中間まとめ 現代経済の性質				
	4thQ	9週	行動経済学① 「合理的人間」像の虚構		ヒューリティクスについて説明できる		
		10週	行動経済学② ゲーム理論		ゲーム理論について説明できる		
		11週	行動経済学③ 経済学における確率		確率的正しさとは何かについて説明できる		
		12週	現代社会の経済学的論点① 日本の企業問題		企業における不正の要因について説明できる		
		13週	現代社会の経済学的論点② 日本の労働問題		現代の労働問題について説明できる		
		14週	現代社会の経済学的論点③ 日本経済の歴史的 position		時事問題について歴史的・経済学的に説明できる		
		15週	総括 経済学という世界の切り取り方				
16週							
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	0	0
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0